

# 公共事業における 景観面でのPDCAサイクル制度について

# 『都市景観ビジョン・大阪』(H30.1)における位置づけ

## 都市景観ビジョン・大阪」(抜粋)

### Ⅷ 実現に向けた視点と取組み

2 公共事業の実施に当たっては、地域の景観づくりの模範となるよう努める

○ 公共事業における景観面でのPDCAサイクルの確立

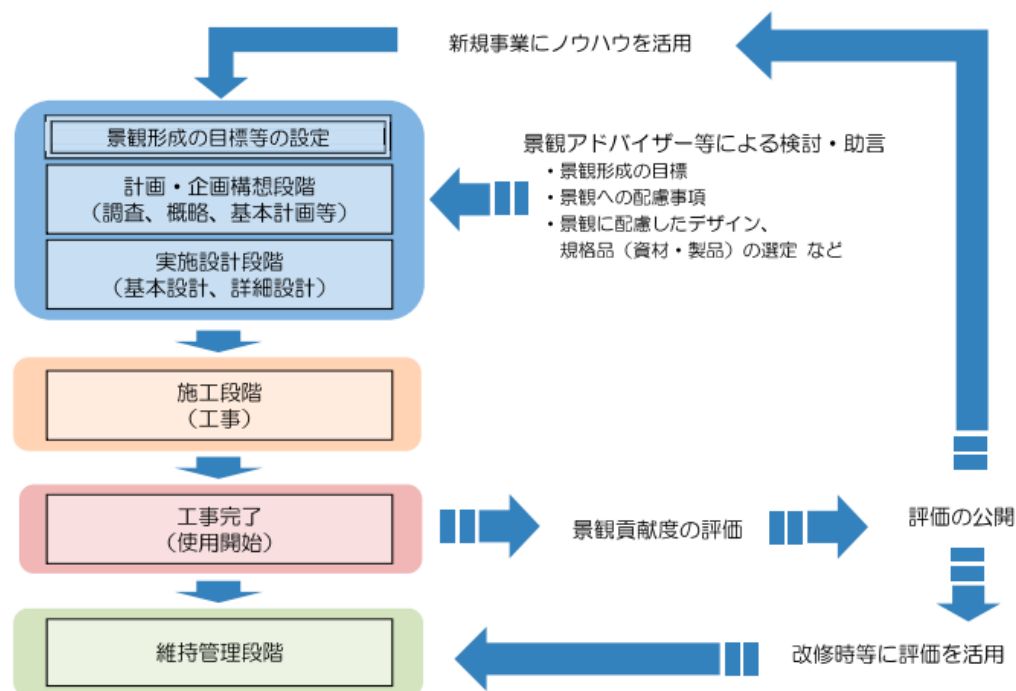
①有識者等との連携による仕組みづくり

・公共事業の実施にあたり景観を意識する機会を設けるため、景観アドバイザー等の有識者による助言や景観面からの仕組みを市町村と連携しながら検討します。

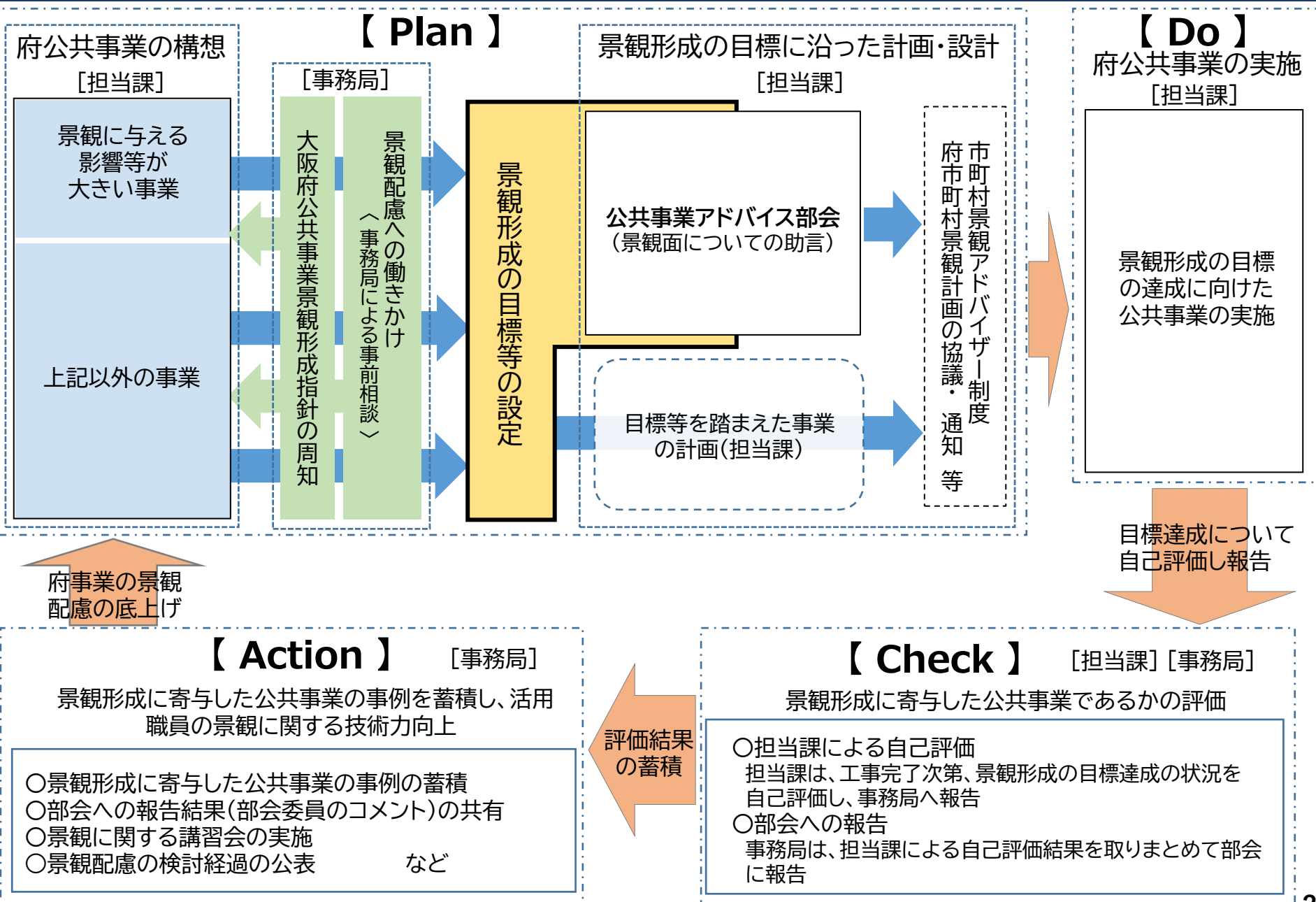
### 公共事業 例



### PDCAサイクル制度のイメージ(「都市景観ビジョン・大阪」より)



# 公共事業PDCAサイクル制度の全体像



# 公共事業PDCAサイクル制度の対象事業

## 公共事業PDCAサイクル制度の対象事業

府住宅建築局発注事業について、以下のいずれかに該当する事業

### (1)大阪府建設事業評価の評価対象となる事業(総事業費1億円以上)

※ただし、地下構造物の築造等、周辺景観への影響がない若しくは極めて小さい事業は対象外

※事業評価の対象外となる災害復旧に係る事業のうち、「本設」、「復興」などは対象

### (2)その他必要と認められる事業



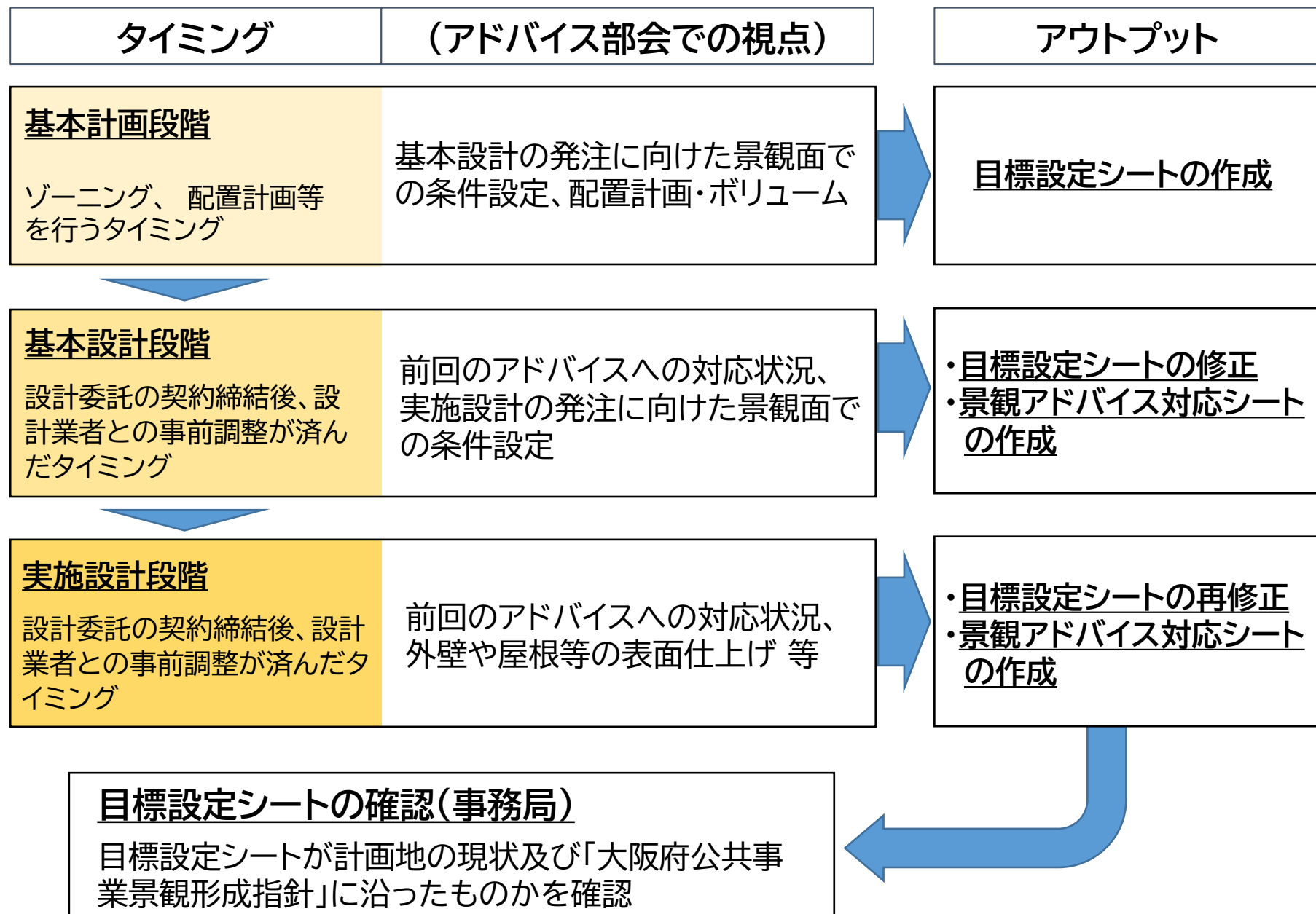
## 公共事業アドバイス部会の対象事業

・大阪府建設事業評価の評価対象事業のうち、全体事業費10億円以上と想定される事業

※府営住宅建替事業については、大阪府景観計画区域内等の立地や事業の進捗状況等を総合的に勘案して選定

※部会対象事業以外でも、希望の申し出のあった事業や景観形成の影響が大きいと想定される事業については、部会に助言を求めることが可能

# 「景観形成の目標等の設定」の基本的な進め方



## ■ 前回の景観審議会(令和7年3月)以降に実施したアドバイス部会

[令和7年度]

第1回:令和7年6月30日

- ・府営堺宮山台4丁第3期住宅民活プロジェクト
- ・大阪府池田保健所新築工事
- ・府立寝屋川高等学校改築工事

第2回:令和7年12月16日

- ・府営住宅外観デザインガイドライン

第3回:令和8年2月13日

- ・府営大阪狭山西山台住宅建替事業 他1件

## ■ 部会委員

若本 和仁 委員(部会長)

田中 一成 専門委員

林 倫子 専門委員(第1回)

船曳 悦子 専門委員(第2回以降)

## 【報告①】

府宮堺宮山台4丁第3期住宅 民活プロジェクト

# 大阪府宮塚宮山台4丁第3期住宅民活プロジェクト

## 1. 事業概要

高度経済成長期に建設された大量の府営住宅が一齐に更新時期を迎えることから計画的な対応が必要となっている。  
本住宅は、大阪府営住宅ストック総合活用計画において「再編・整備」に位置付けており、建替事業により屋内外のバリアフリー化や断熱・省エネ性能の向上、周辺景観への配慮など良好な住宅及び住環境を整備することを目的としている。

## 2. 建替計画

計画地：堺市南区宮山台4丁  
用途地域：第一種中高層住居専用地域  
敷地面積：約2.31ha  
計画戸数：140戸  
構造：地上6階建て(19m)以下

### アドバイス部会(経過)

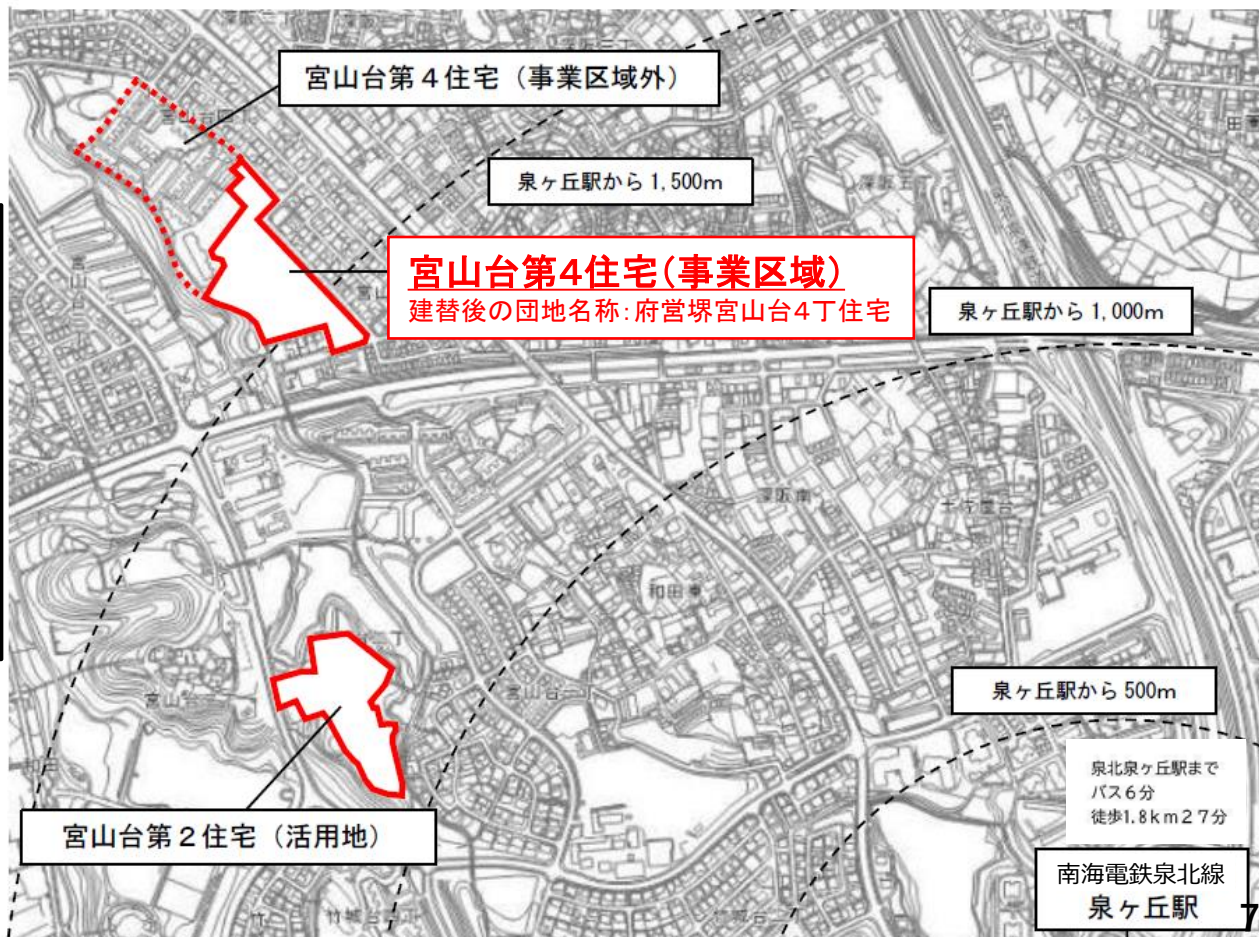
①基本設計段階(令和7年2月)



②実施設計段階(令和7年6月)



令和9年8月竣工予定



4

# 付近見取図(航空写真)

- 北、東、南側は戸建住宅に隣接、西側には樹木の広がる緑道
- 北西側には、既に建替えが済んだ府営住宅(14階建て)が立地



# 計画概要(アドバイス部会①)

令和6年度 第2回公共事業アドバイス部会(令和7年2月10日)資料を抜粋

## ■建替住宅整備コンセプト

地域の自然や街並に調和し多世代交流を生むウォークブルタウン

- ①「SENBOKU New Design」および「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画」の理念に基づき、今回の計画において、**新たな価値を創造し、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることができる「持続発展可能なまち」**の実現を目指します。
- ②計画地周辺の緑道や法面の既存樹木、歩道の並木、高低差のある地形などの自然環境を活かし、府営1期、2期住宅との色彩や配置の馴染みを考え、また多様な広場や集会所等の多世代コミュニティ形成を促す施設を有機的な歩行者ネットワークとともに配置し、**日々の生活や歩くことが楽しいまち**を目指します。



工事名称	大阪府府営泉北4丁目集約住宅 再生プロジェクト		
図面名称	緑地計画		
図式	令和7年 07月03日	大阪府府営泉北4丁目集約住宅 再生プロジェクト	
代表者	設計	作図	縮尺 A1
連絡	小林	小林	A2 - A3 1:200

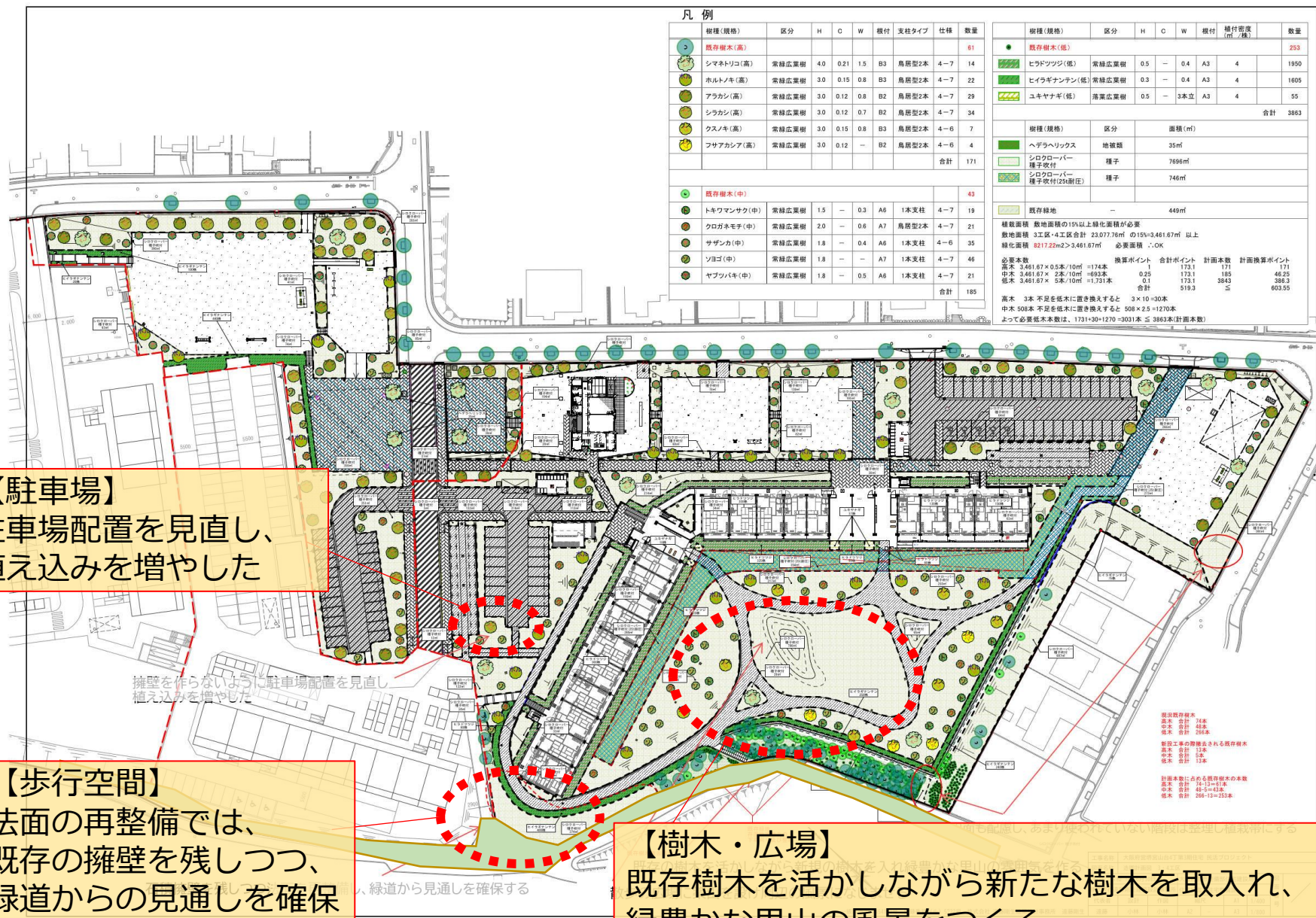
# アドバイス部会での主な助言等

## アドバイス部会①(令和7年2月10日) 主な助言

項目	主な助言
建替え後の住棟 (北西側)との 調和	<ul style="list-style-type: none"><li>・北西側の住棟は高さが高く、圧迫感がある。また、手すり等の印象が異なることから繋がり面で心配。</li><li>⇒形態面では、勾配屋根を用いて連続性に配慮。また、外壁素材は同じものを使い、色調についても同系色で揃えることで一体感を創出。</li></ul>
住棟の色彩	<ul style="list-style-type: none"><li>・上層階から下層階にかけて3段階の色彩を入れ、また、下層階にベースとなるグレーを入れることで、高さの印象が緩和されて良い。</li></ul>
広場	<ul style="list-style-type: none"><li>・エントランスから広場を望むパースを見て、南西側の樹木が山のような背景になり、居心地のよい広場となっている。</li><li>・植栽計画において、<b>昔ながらの里山の雰囲気を残すことができれば良い。</b></li></ul>
緑道(西側)と つながり	<ul style="list-style-type: none"><li>・西側の緑道を通り南側にある小学校への登校する風景をうまく作ることができれば、<b>田園的な山の団地の中で暮らす豊かさ</b>を感じることにつながる。</li><li>⇒緑道は鬱蒼としており、夜間に女性や子どもが歩行するには怖いと感じる状況であるため、既存の緑を残しつつ、フラットな空間にまとめている。</li></ul>

# 計画概要(アドバイス部会②)

変更後



**【駐車場】**  
 駐車場配置を見直し、  
 植え込みを増やした

擁壁を作らないように駐車場配置を見直し  
 植え込みを増やした

**【歩行空間】**  
 法面の再整備では、  
 既存の擁壁を残しつつ、  
 緑道からの見通しを確保

緑道から見通しを確保する

**【樹木・広場】**  
 既存樹木を活かしながら新たな樹木を取入れ、  
 緑豊かな里山の風景をつくる

選定既存樹木  
 高木 合計 71本  
 中木 合計 48本  
 低木 合計 295本

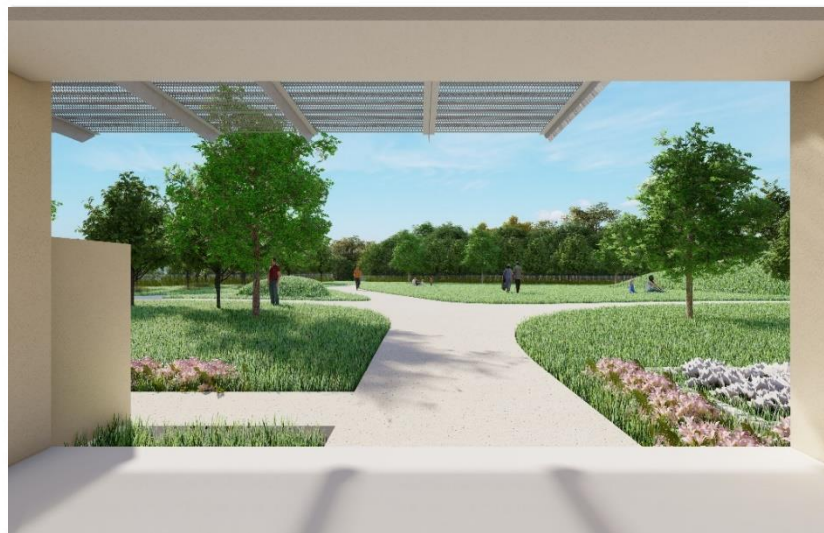
新設工事の際除去される既存樹木  
 高木 合計 13本  
 中木 合計 5本  
 低木 合計 13本

計画本数に占める既存樹木の比率  
 高木 合計 74.3%  
 中木 合計 48.5%  
 低木 合計 266.1% = 251本

# 計画概要(アドバイス部会②)



広場から住棟をみる



エントランスから広場を望む



エントランス広場から防災広場につながる団地内通路



住棟と集会所・広場の鳥瞰パース

## 主な意見

- ・緑道沿いにおける「住民の居場所づくり」の考え方が設計に活かされていて良い。
- ・エントランスから外を見ている風景が良い。
- ・計画した築山が、予算がなくてやめるといったことにならないよう進めてほしい。等

## 【報告②】

# 府営住宅外観デザインガイドライン

# 府営住宅外観デザインガイドライン

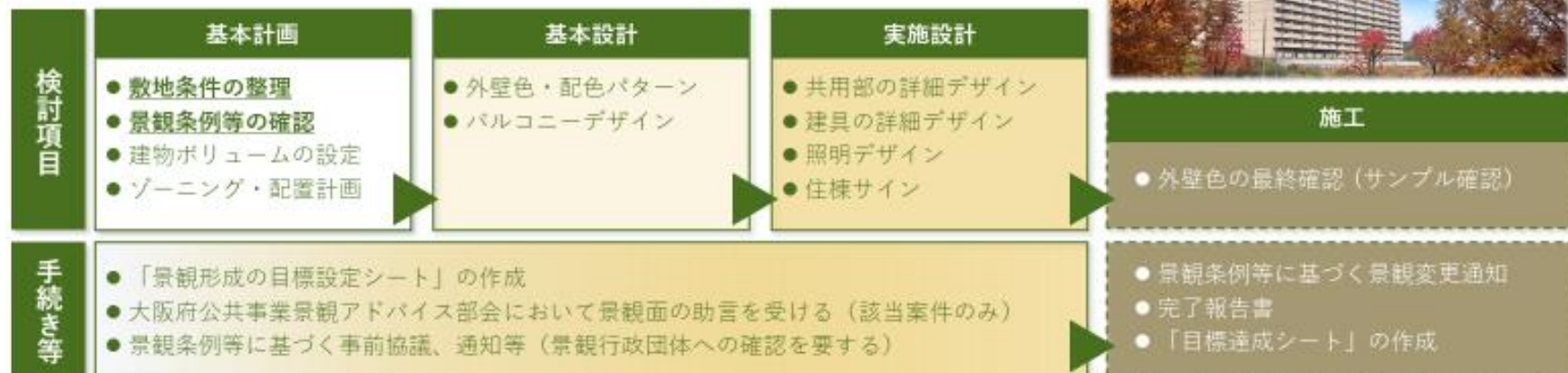
## 府営住宅外観デザインガイドラインとは

府営住宅の建替事業や改修事業において、設計時実務を行う際に役立てられるよう、各設計段階で検討すべき景観面での検討事項を示すとともに、右記のデザインコード等について、デザインの考え方をまとめたもの

### デザインコード

- 建物ボリューム
- ゾーニング・配置計画
- 外壁配色
- バルコニー
- エントランス
- 住棟サイン
- 玄関ドア
- EVホール
- 外構

## 設計の段階毎に検討すべきデザイン項目や必要な手続き



## 基本計画での検討事項（事前確認事項）

- (1) 事業地の景観形成に関する指針や基準類の確認
  - 事業地の景観行政団体
  - 景観行政団体が定める景観計画
  - 景観区域の指定状況
  - 景観計画区域に指定された景観形成の方針等

「景観形成の目標設定シート」を活用

- (2) 良好な景観形成に寄与した事例の確認

- 良好な景観形成に寄与した事例の確認

「参考事例集」を作成

- (3) 事業地周辺の景観の特徴を確認

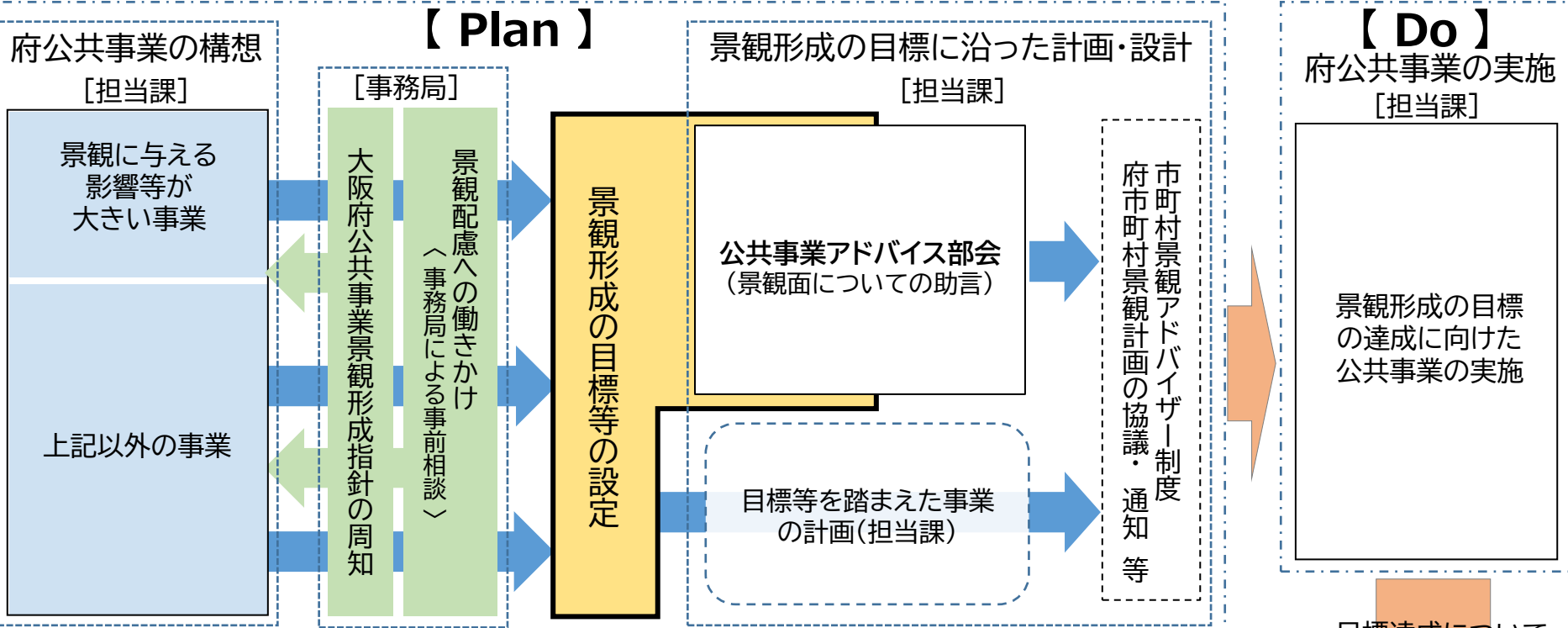
- 計画地周辺の地形上の特徴
- 計画地周辺の景観を構成する主要要素
- 計画地周辺の景観を構成する特徴
- 道路（沿道）から計画地までの景観上の特徴
- 計画地周辺の照明等、夜間景観の特徴

## ゾーニング・配置計画

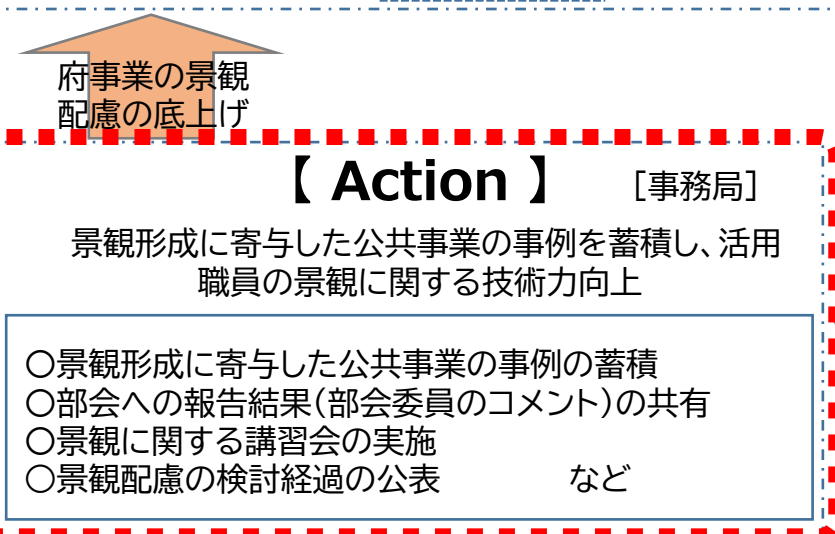
- 広大な敷地を有する府営住宅は、**周辺にオープンスペースを提供**する役割を有するため動線計画を十分に配慮した配置計画とする
- **歩行者目線**で手の届く範囲にあるゴミ置き場や電気室等の付帯施設等が与える印象は大きい為、その配置や外観には十分に配慮する

# 公共事業の景観配慮の底上げ に向けた取組

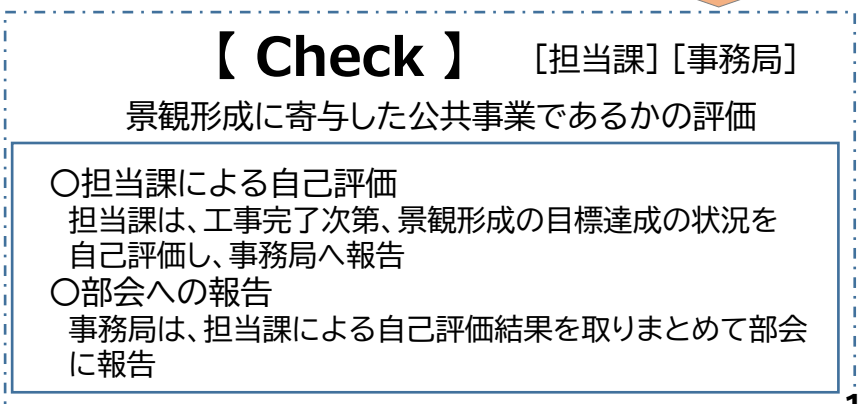
# 公共事業PDCAサイクル制度の全体像



目標達成について  
自己評価し報告



評価結果の蓄積



# 景観に関する講習会

○ 職員向けの講習会や研修会等を通じて、公共事業に携わる**職員の技術力向上**を図る。

【開催日】令和8年2月27日(金)

【参加者】府・市町村職員 31名

【講師】

大阪大学大学院 工学研究科  
若本 准教授(アドバイス部会長)

【講演内容】ワークショップ形式  
「良好な景観形成に向けた  
基礎的技術の習得」

- ・仕組みから景観を考える
- ・景観づくりはなぜ必要か
- ・景観まちづくりの意義
- ・事例紹介 等

【受講後アンケートの声】

- ・認識を深められた
- ・景観の重要性を認識できた
- ・市町村職員と合同のワークショップがよかった
- ・引き算の景観づくりなど初めて知る内容が多く勉強になった
- ・土木職でも参加しやすい内容だった



# 事例の蓄積及び共有に向けた取組

○ これまで開催してきた公共事業アドバイス部会(R3～)を通じて蓄積された設計事例や委員からの助言等を集約し、景観形成における基本的な考え方と併せて「景観力向上ガイドブック」として整理し、公共事業に携わる職員への共有を図る。

## 【公共事業の景観形成における基本的な考え方(特に配慮すべき点)】

『大阪府公共事業景観形成指針』より

- ①自然環境への配慮 ②地域性、場所性、歴史性への配慮 ③機能面、安全面と景観を一体的に考慮 ④要素同士の間係を考慮  
⑤様々な視点からチェック (『異なる視点場から眺める』『速度による景観の変化』『見る人の属性』等) ⑥時間の経過を考慮

## 【具体的な設計事例及び助言例】 ※竣工した事例を順次追加

大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事(令和5年2月竣工) 部会①令和元年9月、部会②令和元11月、部会③令和2年7月、部会④令和5年12月



### ●施設概要

府立障がい児入所施設として持つべき機能を持たせつつ、老朽化した施設の建替えを行うことにより、障がい児の福祉の向上に資する。

- 計画場所 : 富田林市大字甘南備  
敷地面積 : 815,287㎡  
計画規模 : 建築面積 3,072㎡、延べ面積 2,824㎡  
構造階数 : RC造 平屋(S造 平屋 3棟)  
景観計画区域 : 金剛・和泉葛城山系区域

### ●主な助言

周囲の建物との関係	・既存の「障害支援施設」と「富田林支援学校」と併せて、1つの施設として沿道から見たランドスケープを設計すべき
樹木	・残す樹木と脱木する樹木を早い段階で整理した方がよい。
広場・通路	・建物周囲の通路の取り方は建物とセットで考え、広場のつくりこみを考えてもらいたい。
デザイン等	・庇で横ラインが強調されているため、エントランス付近に設置されている柱は、赤でなく黒い方がよい。

# 令和7年度 アドバイス部会における 計画案件の概要

# 府営堺宮山台4丁第3期住宅 民活プロジェクト

案件 府営堺宮山台4丁第3期住宅 民活プロジェクト

## 計画概要等

### <計画地>

所在地：堺市南区宮山台4丁

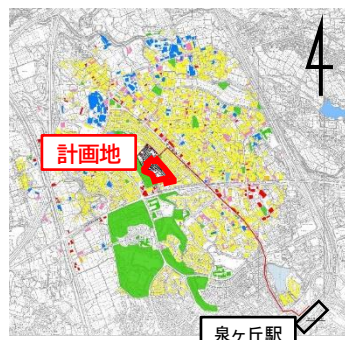
現況建物：RC造 5階建て

敷地面積：約2.31ha

### <計画規模>

戸数：2棟140戸 構造：RC造 6階建て

## 現況写真、計画図



鳥瞰パース

広場のパース



団地内通路のイメージ



エントランスから眺める広場

## 部会開催状況、アドバイス

### ①基本設計段階 (令和7年2月10日 アドバイス部会)

- ✓ 大阪府として仕様等の変えてはいけないところと、民間からの提案を上手に引き出す部分をしっかり認識し、事業を進めると非常に良いものができる。
- ✓ 外観を3段階で配色し、ベースカラーにより高さの印象が緩和されている。
- ✓ 周囲との緩衝剤として広場を多く設け、擁壁が設置されないよう分節されているところがポイントである。
- ✓ 数多く設けられる広場が有機的に使い分けられ、集会所も含め一体的なコミュニティスペースとなり得るのか気になる。
- ✓ 既存樹木を残すことで里山風景のように居心地の良い広場が作られている。昔ながらの里山の雰囲気を各所に残すことができれば良い。



### ②実施設計段階 (令和7年6月30日 アドバイス部会)

- ✓ 今回のようなデザインを、今後の他事業に活かして欲しい。
- ✓ 擁壁をすべて撤去するのではなく、緩やかな法面を残すことは、もっとアピールすべき。
- ✓ 築山について、予算の関係で途中でやめることなく、実現させてほしい。

## 案件 大阪府池田保健所新築工事

### 計画概要等

#### <計画地>

所在地：池田市鉢塚一丁目

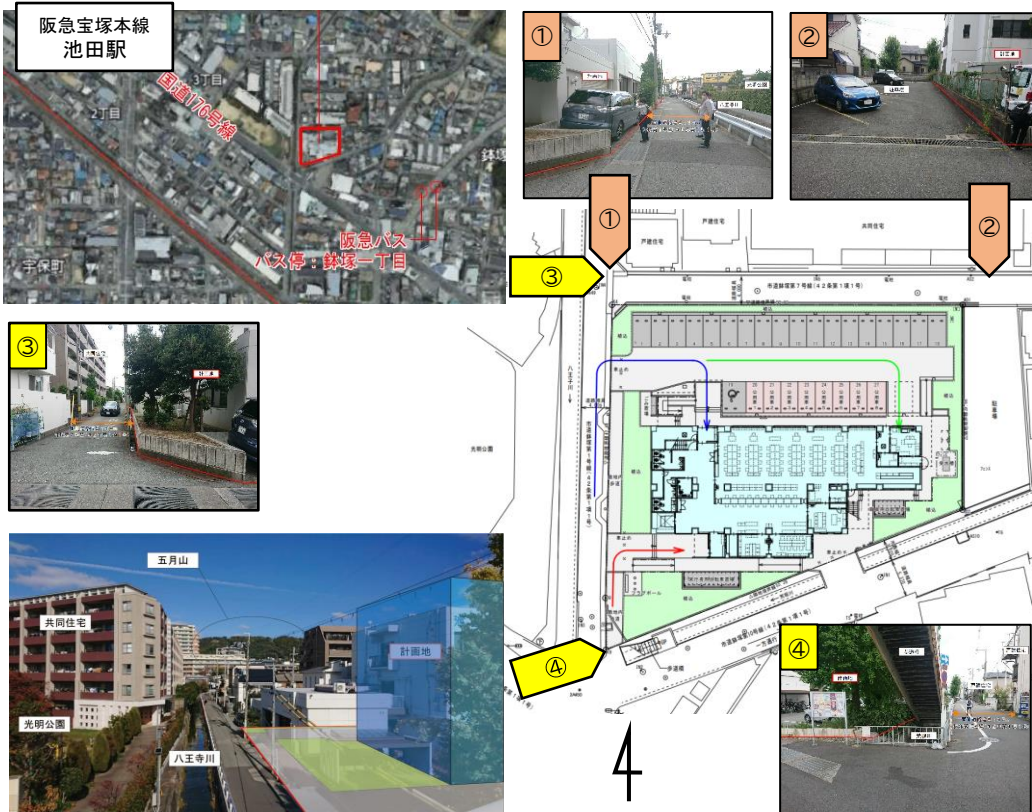
敷地面積：約2,000㎡

#### <計画規模>

保健所新築工事

規模：RC造 地上4階建て、建築面積 約674.75㎡

### 現況配置図、写真



### 部会開催状況、アドバイス

#### ①基本設計段階

(令和6年11月19日 アドバイス部会)

- ✓ かなり狭い道路に囲まれた敷地であるため、いかに豊かな外構空間を周辺に提供できるかを検討してほしい。
- ✓ 北側の生活道路側について緑が少ないため、どのように仕上げるのか丁寧に考えることが重要。
- ✓ 計画では、北側の18台分の駐車場ではアスファルト舗装部分が広いので、1台減らし緑を入れる等、周辺との関係性を考えてほしい。
- ✓ 既存の高木を残すこと、川沿いに植栽を作る計画は非常に良い。
- ✓ 西側道路は幅が狭いため、可能であれば歩行者がアクセスしやすいように緑地部分を配置するなど工夫してほしい。
- ✓ 外壁の配色について、何が背景になるのか意識して検討されると良い。

#### ②実施設計段階

(令和7年6月30日 アドバイス部会)

- ✓ 敷地内の緑地が増えることはとても良いが、逆に内向き度が強まり、公共の施設が周りの地区も変えるような景観的な力というものが薄まるのが心配である。周囲の建物が建てかわる際、巻き込む力を発揮できるような建物にしていきたい。
- ✓ 外観を縞模様にするなどで圧迫感を生じるかもしれない。周りの建物とデザインが異質なため、共同住宅や戸建て住宅、植栽なども考慮し、本当にこれがいいのかを確認していきたい。

# 府立寝屋川高校改築工事

案件 府立寝屋川高校改築工事

## 計画概要等

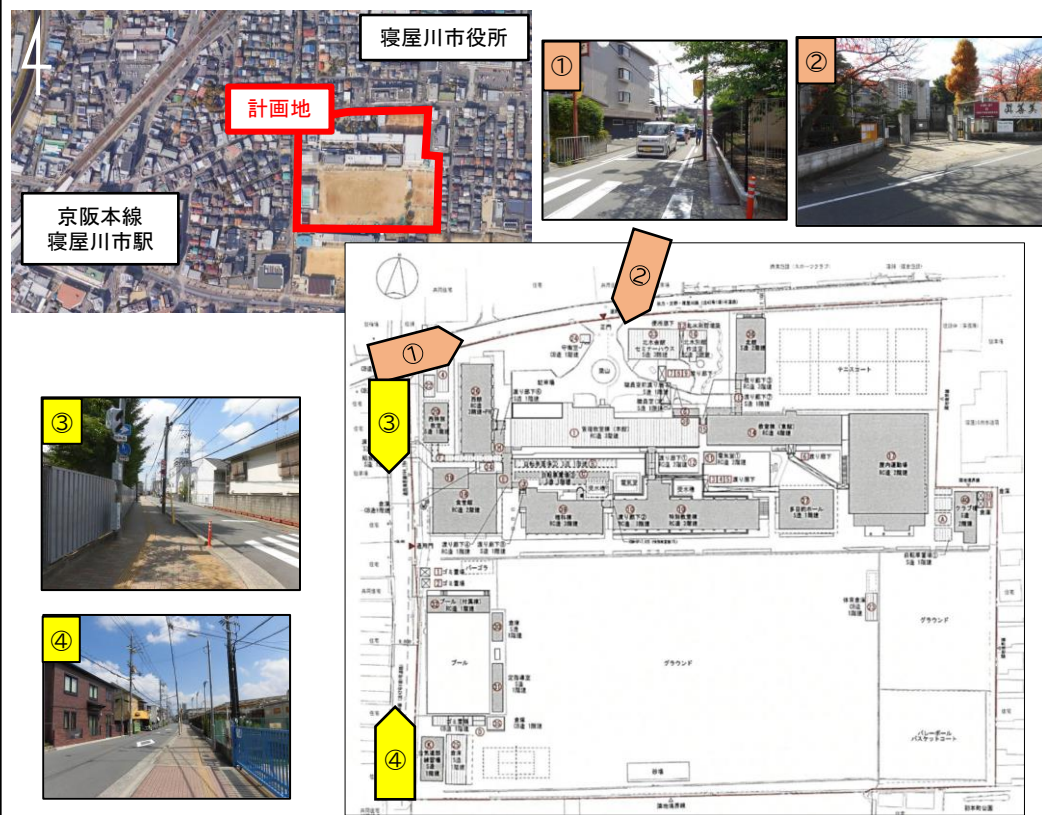
### <現況>

所在地：寝屋川市本町  
敷地面積：約34,600㎡

### <計画規模>

校舎改築工事(校舎等、屋内運動場棟、付属棟、渡り廊下等、駐輪場等)  
規模:RC造またはS造 4階建て、総延べ面積 約16,700㎡

## 現況配置図、写真



## 部会開催状況、アドバイス

### ①基本計画段階

(令和5年1月15日 アドバイス部会)

- ✓ 現在の正門側の通学路は狭く危険であり、校舎の周囲をフェンスで囲まれているため、快適な通学路となるよう計画してほしい。
- ✓ 定時制で夜間も授業がある高校であるため、高校生の学習環境をしっかりと整えるため、夜間景観にも十分配慮してほしい。
- ✓ 道路沿いでの内装の木質化が外側から見えるような工夫があれば、学校らしい暖かみのある雰囲気も周囲にも伝わる。

②基本設計段階:非公開(令和7年6月30日 アドバイス部会)  
※理由:行政内部で十分、検討・協議がなされていない情報や精度の点検がなされていない情報などが含まれている為

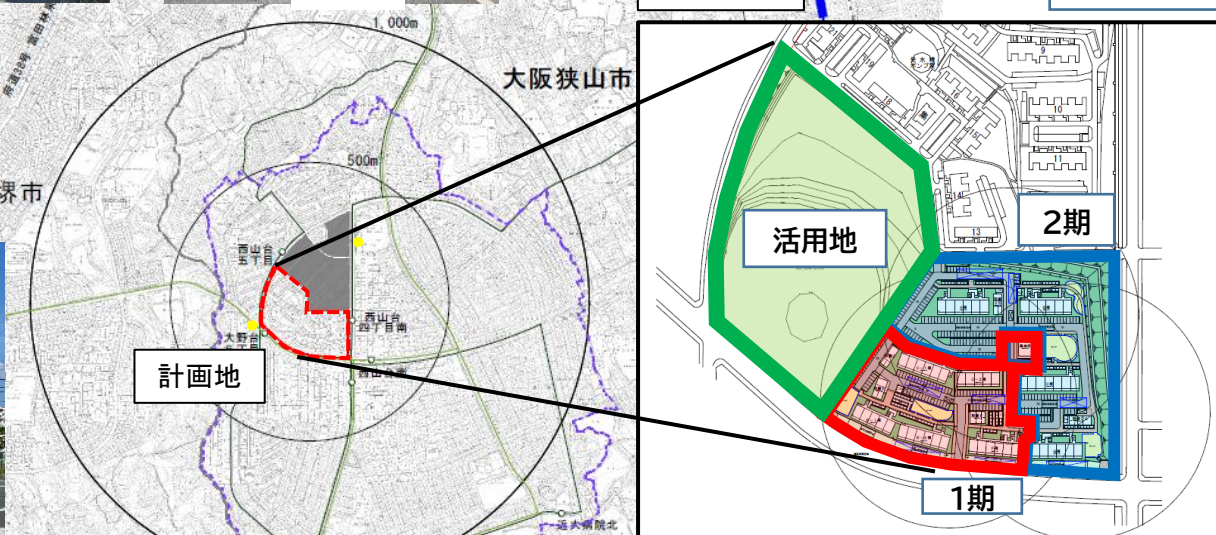
# 府営大阪狭山西山台住宅建替事業

案件 府営大阪狭山西山台住宅建替事業

## 計画概要等

<現況>  
敷地面積:約11.46ha(うち建替対象 約6.1ha)  
管理戸数:1440戸(40棟)(うち建替対象760戸22棟)  
構造:RC造 5階建て 建設年度:昭和44、45年度  
<計画規模>  
敷地面積:約6.1ha(府営住宅敷地 約3.06ha、活用地 約3.03ha)  
計画戸数:400戸(7棟) 構造:RC造 7階~8階建て

## 現況配置図、写真



## 部会開催状況、アドバイス

②実施設計段階 (令和8年2月13日 アドバイス部会)

- ✓ 駅から近づいてくるときの遠景と、敷地内を歩く人の近景を考慮し、周辺と比べて、違和感や圧迫感のない配色とすること。
- ✓ 受水槽、集会所、駐輪所等のデザインにも注力することで、散歩する場になさわしい場所となる。
- ✓ 床の仕上げは建物以上に目につくこともあるので、気を配る。傾斜地にインターロッキングを採用することはバリアフリーも考慮し、再検討する方良い。

①基本設計段階:非公開  
理由:府民の正確な理解を妨げるおそれがあるため